

## 高度情報専門人材の確保に向けた機能強化支援事業について

学長  
今岡 春樹

AI に代表される情報技術が進展し、世界レベルで社会が変化し続けています。この変化は極めて大規模なものと考えています。例えば日本にまだ文字がなく、文字を輸入し改善していた奈良時代からの変化に匹敵すると思っています。奈良女子大学の使命は「社会で活躍する女性人材の育成と輩出」です。本学の全ての卒業生が、この急激な社会の情報化に対応した、そして持続的に対応できる能力を持つことは喫緊の重要な目標であると考えています。その能力は情報を専門とするレベル、副専攻として情報をマスターしたレベル、情報リテラシーをマスターしたレベルの3レベルに区分されます。そしてその習得すべき内容も変化し続けていくと予想します。

従来の情報技術は主として理学部と工学部のテーマでしたが、自動翻訳や生成型AIの進展で文学部もその知の在り方を膨らますことが必要です。生活環境学部に関しては、2023年のIoTデバイス数が世界で358億台ある時代になり、情報の世界と生活環境が密接に結びついてきたことを考慮すべきです。このように情報化の進展は大学全体の教育研究に直結する問題となり、学生の教育について改善を続けることが大学の価値を上げることと不可分のことになりました。

この度、奈良女子大学の申請が令和5年度大学・高専機能強化支援事業に選定されました。その中心となるのは、生活環境科学系の生活情報通信科学コースです。学部と大学院博士前期課程の学生定員を増加させて対応します。同コースを担当する専任教員も充実させます。このコースの強みは30年に渡る情報科学教育から生みだされた情報分野で活躍する卒業生の豊富さです。情報分野は日進月歩ですが、先輩たちの協力を得て、そのスピードに対応していく逞しさを、そして情報技術の進展の方向を感じ取る感性を、最先端の技術と共に修得できます。また、これを契機に全学的な情報科学教育を強化し、情報に強い女性人材の育成と輩出を行います。私は、この機能強化支援事業がこの国の情報産業の発展に健全な形で寄与することを確信しています。